

スチュワードシップ活動

No.2024-6

2024年4月5日
責任投資推進部

「責任投資の中期取組方針」の策定について

- 第一生命は、第一生命グループの第一フロンティア生命と共同で、責任投資の中期取組方針（2030年3月迄）を策定しましたので、お知らせします。
- サステナブルな社会の実現に向けた機関投資家としてのアプローチである責任投資において、第一生命では「責任投資の中期取組方針（2025年3月迄）」で掲げた目標を当初想定以上に進捗させました。また、第一フロンティア生命においては、社会課題解決に資するテーマ型投資などの各種取組みを着実に実施しています。さらに、第一生命と第一フロンティア生命では、投融資先への協働エンゲージメントを実施するなど、グループ一体となった責任投資も推進しています。この度、両社の責任投資のさらなる高度化に向けて、現行の第一生命単体での中期取組方針（2025年3月迄）を改定し、責任投資の中期取組方針を共同で策定しました。
- 本方針においては、第一生命および第一フロンティア生命の環境・社会への影響に配慮した投融資の推進に向けた具体的な取組みや考え方（環境・社会に関するアセスメントや投融資の際に留意する分野・事業への考え方）を整理しましたので、併せてお知らせします。

【責任投資の中期取組方針（2030年3月迄）の概要】

「責任投資の中期方針」（2022年4月～）		達成状況	「責任投資の中期方針」（2024年4月～）	
対象 期間	対象：第一生命 期間：2025年3月迄	-	対象：第一生命 + 第一フロンティア生命 期間：2030年3月迄	
責任 投資 全体	社会課題の解決に向けた投融資の推進 累計投融資金額：2兆円	前倒達成 (約2兆円) ※1	社会課題の解決に向けた投融資の推進 累計投融資金額：5兆円	
	全アセットにおけるESGインテグレーション、 スチュワードシップ活動	順調に進捗	取組み継続	
気候 変動 対応	上場株・社債・不動産ポートフォリオにおけるGHG排出量 25%削減（基準年：2020年）	順調に進捗 (16%削減) ※2	上場株・社債・不動産・企業向け融資ポートフォリオにおけるGHG排出量 50%削減（基準年：2020年）	
	2024年度における年間CO2排出削減貢献量の 目安：150万トンCO2e	順調に進捗 (123万トンCO2e) ※3	2026年度における年間CO2排出削減貢献量の 目安：240万トンCO2e	
	気候変動問題解決に向けた投融資の推進 累計投資金額：1兆円	順調に進捗 (約8,500億円) ※1	気候変動問題解決に向けた投融資の推進 累計投資金額：2.5兆円	
	・ 運用ポートにおける排出量上位50社に対する エンゲージメントを通じたネットゼロ戦略の策定・実行促進	順調に進捗	・ 運用ポートにおける排出量上位50社に対する気候変動エンゲージメントの継続 ・ セクター別（電力・鉄鋼）に求められる削減水準を明確化し、 気候変動エンゲージメントの取組みを強化	

達成状況の時点：※1：2023年度末 ※2：2022年 ※3：2022年度

- 第一生命グループは、新たに設定したグループ・パーパス「共に歩み、未来をひらく 多様な幸せと希望に満ちた世界へ」のもとで、社会とともに歩み、未来をひらく存在でありたいと考えています。これからもサステナブルな社会の実現に向けた各種取組みを通じて、地球環境、地域・社会の課題解決につながる価値をお届けすることを目指します。

※詳細については以下の第一生命ホールディングスのホームページをご参照下さい

https://www.dai-ichi-life-hd.com/newsroom/newsrelease/2023/pdf/index_052.pdf